

## 令和6年度 地理歴史科 「歴史総合」 シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	理数科 2年H組
教科書	歴史総合(第一学習社)	副教材等	

## 1 学習の到達目標

社会的事象について歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、国家及び社会の有為な形成者に必要な資質・能力を、以下のように身に付けます。

①近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けます。

②近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養います。

③近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めます。

## 2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
前期	4	I 近代化と私たち	①18世紀の アジアの繁栄  ②産業革命と市民革命	(1)18世紀の東アジアの政治と国際秩序 (2)18世紀の東アジアの経済と社会  (1)国際商業の覇権争いと大西洋三角貿易 (2)農業社会から工業社会へー産業革命 (3)アメリカ独立革命 (4)フランス革命 (5)イギリスに挑戦したナポレオン (6)大西洋をこえて広がった革命	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・グループワーク</li> <li>・提出課題</li> <li>・授業への参加</li> </ul>
	5		③イギリスの繁栄と 国民国家の拡大	(1)イギリスの繁栄 (2)後発国による「上からの近代化」 (3)ロシアの近代化と南下政策 (4)アメリカ合衆国の膨張	
	6		<b>《第1回考査》</b> ④アジア諸国の変貌と 日本の開国	(1)オスマン帝国の衰退と西アジア (2)南アジアと東南アジアの植民地化 (3)東アジアの動揺 (4)東アジアの情勢と改革 (5)明治初期日本の外交と東アジアの国際秩序 (6)日本の立憲国家への道のり	
	7		⑤帝国主義の発展	(1)帝国主義の時代 (2)列強の世界政策	
	9		<b>《第2回考査》</b>	(3)日清戦争と中国分割 (4)日露戦争とアジア (5)日本の工業化と社会運動の高揚 (6)日本の帝国主義と東アジア	

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
後期	10	Ⅱ 国際秩序の変化や大衆化と私たち	① 第一次世界大戦と大衆社会  ② 経済危機と第二次世界大戦	(1) 第一次世界大戦 (2) ロシア革命とソ連の成立 (3) ヴェルサイユ=ワシントン体制 (4) アジア諸国の独立運動 (5) 東アジアの民族運動と日本 (6) アメリカの大衆社会 (7) 大正デモクラシーと日本社会の変化  (1) 世界恐慌 (2) ファシズム・軍部の台頭 (3) ファシズムの対外侵略と国際秩序の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期考査</li> <li>・ グループワーク</li> <li>・ 提出課題</li> <li>・ 授業への参加</li> </ul>
	11		③ 第二次世界大戦の戦後処理と新たな国際秩序の形成	(4) 日中戦争の開始と戦時体制下の日本 (5) 第二次世界大戦の開始 (6) 第二次世界大戦の終結  (1) 国際連合と国際経済体制 (2) 冷戦の開始とアジアへの波及 (3) 敗戦国の戦後改革と日本国憲法の制定 (4) 平和条約と日本の独立回復	
	12	Ⅲ グローバル化と私たち	《第3回考査》 ① 冷戦と脱植民地化・第三世界の台頭	(1) アジア諸国の独立と中東戦争 (2) アフリカ諸国の独立と第三世界の台頭	
	1			(3) 核戦争の危機から核軍縮へ (4) 西側諸国の多極化と日本の動向 (5) 日本の高度経済成長とアジアとの関係回復 (6) 米中の動揺とベトナム戦争	
	2		② 国際秩序の変容と21世紀の世界	(1) 石油危機とイスラーム復興 (2) 東南アジア・東アジアの経済成長 (3) 冷戦の終結とソ連の解体 (4) 地域紛争の頻発とアメリカの動揺 (5) グローバル化と地域統合の動き (6) 情報通信技術の発展と環境問題への対応	
	3		《第4回考査》		

### 3 評価の観点

知識・技能	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。
思考・判断・表現	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度や、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身に付けている。

### 4 評価の方法

定期考査によって知識・技能および思考・判断・表現について評価します。主体的に学習に取り組む態度については、グループワークの提出課題、振り返りプリントなどによって評価します。

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

歴史とくに近現代の歴史は、現在の日本・世界を理解し、より良い未来を考えるためには不可欠のものです。日本の歴史だけでなく、他国・他地域の歴史を理解し、その関わりを学ぶことで、日本の立場をより客観的に見る目が養われます。歴史を理解するためには、一つ一つの歴史的出来事を学ぶだけでなく、それがどのような状況で起こり、どのような影響を与えたかを多面的に理解することが必要になります。そのため、テストの他に他の生徒と意見交換した内容をまとめたり発表する学習活動も行い、これらも評価します。暗記だけではなく、大きな視点で歴史をとらえ、これからの国際社会に対応できる能力を身に付けていきましょう。